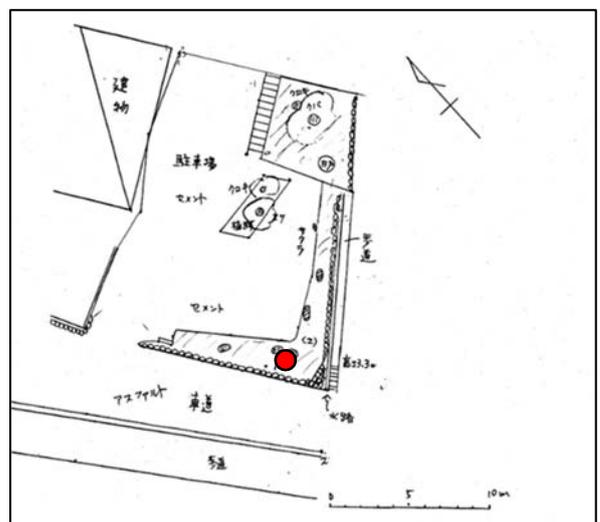


大名ヒージャーガーのガジュマル



国土地理院 地理院地図（電子国土 Web）を使用



認定番号 34

樹種名	ガジュマル	科名	クワ科	方言名	ガジュマル	学名	<i>Ficus microcarpa</i> L.f.					
形状・寸法	樹高 9.1 m	胸高周囲 3.2 m	根本周囲	m	樹幹占有面積 m ²							
	枝下高 2 m	枝張 東 3.5 m	西 5.4 m	南 4.3 m	北 4.8 m	最大樹冠幅 64 m						
通称	大名ヒージャーガーのガジュマル			樹齢	80年(推定)							
所在地	南風原町字大名79				所有者	1 国 2 県 3 市町村 4 その他公有 5 社寺 6 個人 7 会社 8 その他民有 9 不明 備考:平安座自治会所有						
立地場所	1 公園 2 庭園 3 個人の庭・屋敷 4 公共施設 5 学校 6 神社寺院 7 拝所 8 市街地 9 街路 10 その他				状況	1 単木 2 樹叢中 3 樹林中 4 その他						
保護制度	1 国指定天然記念物 2 県指定天然記念物 3 市町村指定天然記念物 4 景観重要樹木 5 保存樹 6 名木 7 その他 8 なし				気象条件	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	1 樹林 a 大面積山林 b 小面積山林 2 芝地 3 耕地 4 建物の間 5 道路 6 河川 7 湖沼 8 その他 ()					(最寄りのアメダスステーション)	平均気温(°C)	16.8	17.9	18.4	20.9	23.6
土地傾斜	1 平坦(0~5°) 2 緩(5~15°) 3 中(15~30°) 4 急(30~45°) 傾斜方向:				地点:那覇	月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 (測定不能)					2014年	平均気温(°C)	29.3	28.7	28.8	25.4	22.6
基岩・母材					潮風の影響	1 なし 2 ややある 3 ある 4 やや強く受ける 5 強く受ける(特記)						
	1 山地 2 丘陵地 3 台地 4 平地 5 尾根 6 中腹 7 谷 8 窪・窪 9 カルスト 10 埋め立て地 11 海岸段丘 12 その他					日照条件	1 良い 2 普通 3 やや不良 4 不良					
土性	1 砂壤土:大部分が砂で僅かに粘土を感じる 2 壤土:砂と粘土が半々 3 埴壤土:大部分粘土で僅かに砂を感じる 4 埴土:ほとんど砂を感じない				周辺樹木の影響	1 なし 2 わずかにある 3 ある 4 かなりある 5 深刻((状況))						
	根元及び周囲の植生				周辺樹木の関係	1 土壌の固結がなくきわめて良好 2 固結はあまりなく概ね良好 土壌なし 3 固結している a 踏圧あり b 踏圧なし						
					周辺樹木との関係	1 影響なし 2 僅かに影響を受けている 3 かなり影響を受けている 4 深刻な影響を受けている						

管理状況	1 柵 a 有 b 無 (有の場合の高さ m、材質() 柵内面積 (m ²) 設置年 2 支柱 a 有 b 無 3 剪定 a 強 b 弱 c 無 d 枝折等の都度処理 4m以上が剪定 4 施肥 a 有 b 無 (有の場合 回数 種類) 5 薬剤散布 a 有 b 無 (有の場合 回数 種類) 6 解説板 a 有 b 無 7 避雷針 a 有 b 無 8 定期的な草刈・掃除 a 有 b 無 9 その他											
過去の治療歴と内容												
故事来歴	1 無 2 信仰対象 3 禁忌(タブー) 4 祭事 a 有 b 無 5 いわれの内容 6 不明											
視認性	1 遠方からも目立つ 2 近くに行けば見える 3 直前まで見えない 4 敷地内にはいるとよく見える 5 敷地内に入っても見えない (理由)											
特記事項	1 動物生息 a 有 b 無 (有の場合動物の種類) 2 着生植物 a 有 b 無 (有の場合植物の種類 オオタニワタリ、オオイタビ、ヘクソカズラ) 3 見学・参観者 a 有 b 無 (有の場合その数) 4 その他 生徒・父兄等											

地上部の衰退度判定（認定番号34）

評価項目	評価基準				
	0	1	2	3	4
1 樹勢	旺盛な生育状況を示し被害が全く見えない	幾分影響を受けているが、あまり目立たない	異常が明らかに認められる	生育状況が極めて劣悪である	殆ど枯死
2 樹形	自然樹形を保っている	若干の乱れはあるが、自然樹形に近い	自然樹形の崩壊がかなり進んでいる	自然樹形がほぼ崩壊し、奇形化している	ほとんど完全に崩壊
3 枝の伸長量	正常	幾分少ないが、目立たない	枝は短くなり、細い	枝は極度の短小、ショウガ状の節間がある	下からの萌芽枝のみ僅かに生長
4 梢や上枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い	著しく多い	梢端がない
5 下枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い、切断が目立つ	著しく多い、大きな切断がある	ほとんど健全な枝端がない
6 大枝・幹の損傷	なし	少しあるが回復している	かなり目立つ	著しく目立つ大きく切断されている	大枝・幹の上半分がかけている
7 枝葉の密度	枝と葉の密度のバランスが取れている	0に比べてやや劣る	やや疎	枯死が多く葉の発生が少なく、著しく疎	ほとんど枝葉がない
8 葉の大きさ	葉が全て十分な大きさ	所々に小さい葉がある	完全にやや小さい	全体に著しく小さい	僅かな葉しかなく、それも小さい
9 樹皮の傷	傷はほとんどなし	穿孔・傷が少しあるがあまり目立たない	古傷がある	傷からの腐朽が著しい	大きな空洞、剥がれがある
10 樹皮の新陳代謝	樹皮は新鮮な色をしていて新陳代謝が活発	普通	樹皮に活力がない	著しく活力がない	樹皮の大部分が枯死
11 胴吹き・ひこばえ	枝は量が多く胴吹きひこばえもない	枝葉量が多いが胴吹き又はひこばえもある	枝葉量が少なく胴吹き、ひこばえがある	枝葉量が極めて少なく、胴吹きひこばえが多い	枝葉量が極めて少なく胴吹き、ひこばえも少ない

衰退度 = 各項目の評価値の合計 / 11 (評価項目) = 1.45

衰退度判定基準

衰退度区分	I	II	III	IV	V
		0.8未満 良	0.8~1.6未満 やや不良	1.6~2.4未満 不良	2.4~3.2未満 著しく不良

倒木・枝折れ等危険度判定

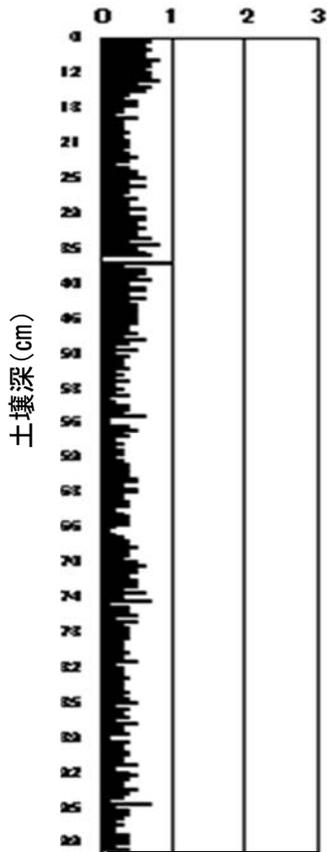
項目	判定			
	安全	可能性あり	可能性高い	明らかに危険
通行者・建物等との位置関係	○			
根返り	○			
幹折れ	○			
大枝折れ	○			
中・小枝落下	○			
幹の傾斜の増大	○			
その他()				

土壤調査結果 (認定番号 34)

層位	土壤色	深さ	構造	土性	pH	EC(dS/m)	調査場所
I	10YR3/3	0-14	—	埴土	—	—	珊瑚石灰岩 岩礁
II	2.5Y4/3	14-21	—	重埴土			
III	2.5Y5/4	21-	—	砂質埴土			

土壤貫入量結果

貫入量 (cm)



大名ヒージャーガーのガジュマル

部位	所見	対応
土壌	<ul style="list-style-type: none"> ・古い石垣の角縁に生育する。北～西はモルタルが敷かれ、その方向以外は石垣を抱くように根を下ろしている。 ・石垣下部の土壌はジャーガルで風化が進み、腐食質に富み、膨軟である。 ・土壌深は 50cm 以上である。 	・無し
根	<ul style="list-style-type: none"> ・根元で焚き火をした形跡があり、その上方の葉は西側約 4mの高さにわたり褐変している。 ・根の大部分はオオイタビで覆われている。 ・傷は少ない。 ・石垣に強く固着して伸張し、車道に達しており、活力はある。 	・無し。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ(粗大ゴミ)が散乱しており、根が取り込みつつある。 	・根の周辺は清潔に保つことが重要あると考える。そのことにより異常を早期に察知できると思われる。
幹	<ul style="list-style-type: none"> ・主幹は高さ 2.3m、及び 3mで断幹され、多数の萌芽枝が発生している。 	・無し。
	<ul style="list-style-type: none"> ・南向き(石垣側)に傾斜している。北～西面には根の伸張は期待できないため、将来的に倒伏の可能性はある。 	・枝の切り落としは南面を重点的に行うのが望ましい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・古い幹(枝)にイチジクカミキリの食痕が、他の細かい枯れ枝にカミキリ(種不明)の脱出孔が見られる。新しい生息痕は見られない。 	・新しい生息痕は見られないため、防除は要しないと思われる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・幹に鉄くず、ビニル紐等を巻き込んでいる。 	・可能な限り除去することを検討する。この際、無理はせず、樹皮ギリギリで切るのが良いが、樹体に傷を付けないように注意する。
枝	<ul style="list-style-type: none"> ・大枝はほとんど切り落とされており、切り口からの枯れ下がりが目に付く。直径は 5～15cm 程度で傷痕部(人為)が多く、活力に乏しい。 	・枯れ枝の切除、及び枝の分岐部等にある異物の除去を検討する。
葉	<ul style="list-style-type: none"> ・ムツボシシロカミキリの食痕、オキナワイチモンジハムシ、アオバハゴロモ幼虫が若干見られる。 	・無し。
備考	東側上方 20mの所にカーがあり、水は豊富である。	

